

浦安市議会議員

中村りか子 通信

働きます！あなたと子どもの笑顔のために。

NO.50 2025年 1月発行

ご挨拶

2025年が始まりました。
 今年は、干支でいうと60年に一度の乙巳（きのとみ）。これまでの努力や準備が実を結び始める時期と言われています。
 私、中村りか子も市議会議員として市民の皆様へ負託を受け15年目を迎えます。今まで議員として、20年後、30年後の浦安の未来を見据えて議会で訴え、対応を求めてきた少子高齢化を含めた様々な課題は、現実のものとなり、大きく時代が変わっていき、変わっていかねばならない時を迎え

ていると捉えています。
 『すべての市民の幸せのために』土台の足元をしっかり固めて、さらに変化に対応していく成長・開花の年にしていけるよう働いてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回の通信では、昨年の衆議院選挙のため9月議会の報告ができませんでしたので、9月、12月議会と合わせて主な項目のご報告をさせていただきます。

©KOMEITO



産後ケア事業の充実を！

9月議会

Q 産後うつリスクのピークは、産後2週間から1ヶ月ですが、次の波が10ヶ月と言われています。現在、浦安市の産後ケア事業は、宿泊型4ヶ所・日帰り型3ヶ所となっており、日帰り型1ヶ所で1年未満の利用ができますが、それ以外は、3ヶ月までの利用となっています。そこで、利用時期の拡充と、よりきめ細かく子育て家庭を丸ごと支えることができる「訪問型産後ケア～産後ドゥーラ」の導入が必要では？！

A 産後ケア事業の利用者の声や他自治体の取り組み状況を参考にしながら、訪問型の産後ケアの実施の可否について検討しています。合わせてデイケア型の対象者の拡充についても事業者と連携をとって検証してまいります。

ユマニチュードの活用を！

12月議会

Q 認知症への理解を進めることはもちろん、認知症の方への適切な対応を学ぶことで、ご本人も介護する側も日々の生活の質が向上します。そこで、認知症の方の行動や心理症状が15%ほど改善され、ケアする側の負担感も20%改善したとの研究結果が出ている『ユマニチュード』というケア技法を活用し、全市的に取り組んだらどうか？

A 令和6年11月に浦安市医師会が医療・介護関係者を対象に勉強会を行ったと聞いている。市としての活用についても研究していきたい。

ユマニチュードの詳しい内容については、日本ユマニチュード学会HPにて→



市民相談はお気軽に！



Mobile Phone 090(3595)7983
 E-Mail : n.ricaco@icloud.com
 発行 中村理香子後援会



デジタルツールを用いた学校支援を！ 9月議会

Q 特別支援学級において、発達特性を適切にアセスメントをし、保護者との共通認識を持って支援をきめ細かく行うための教育ソフトの活用が全国で広がっています。そこで、市として活用の考えはないのか？

A 試行的な活用を行ってまいります。

カウンセリング支援拠点としての『学びの多様化学校』の体制づくりを！

Q 千葉県初となる学びの多様化学校の開校に向けて、生徒・保護者の心理的サポートはもちろん、先生が相談できる体制づくりが必要と考えます。そこで、大学等と連携した心の教育の専門的知見を活用した体制づくりが必要では？

A 開室後の状況を見極めながら学びの多様化学校の支援方法や体制、連携等について検討していく必要はあるものと考えています。

実現します！！

福祉バス券がICカードでも利用できるように！

高齢外出支援交通費助成事業において、長年訴えてきた Suica・PASMO などの交通系 IC カード利用が令和 7 年 4 月から開始となります。今まで 5,600 円分の福祉乗車券を 70 歳以上の方に送付していましたが、令和 7 年度からは、希望する方には、セブンイレブンにある端末機でお持ちの IC カードにチャージし、使用することができるようになります。これにより、タクシーや電車などにも利用できるようになり、より外出しやすくなります。ぜひ、ご利用ください。

自転車用ヘルメット購入助成拡充へ

現在、自転車用ヘルメットの購入に関しては、幼児から中学生までの市民を対象に、1 台上限 2000 円の助成をしています。自転車の利用と交通事故の頻度から考えると高校生までの拡充を訴えてきました。

令和 7 年 4 月からは、全市民対象に助成事業をスタートさせることとなりました。

認知症に関する情報をわかりやすく 12月議会

Q 認知症は、介護する側へ情報提供も重要です。地域包括支援センターが気軽に相談できる場所として認知が進み、相談に来ていただくことが一番ですが、働く現役世帯が情報を受け取りやすい仕組みも必要です。そこで、『認知症 Navi』のようなウェブサイト、アプリの活用を検討したらどうか？

A 他自治体の取り組みも参考にしながら効果的な情報提供のあり方について、検討していきたい。

共同親権制度について

Q 共同親権制度が令和 8 年より施行されることになりました。3 組に 1 組が離婚をし、その半分は未成年の子どもがいる世帯で発生しています。親が離婚をしても子どもの人権と利益が尊重、優先されるような環境を整えていく必要があります。そのためには、「子の人格を尊重して子を養育すること」「父母の責務と法的責任は、離婚の有無に関わらず双方が負うこと」という親の責務について、正しく広く理解され、社会の常識にしていかなければなりません。そこで、普及啓発の必要がとありますが、市の考えは？

A 必要な情報収集を行うとともに、啓発に努めてまいります。

さんぽが好きになるまちづくりを

Q さんぽが好きになるまちづくりを進めることは、自然と健康的な行動や生活習慣ができ、健康につながるができる『0 次予防』に繋がります。基本のテーマは、「歩く」「話す」「自然を感じる」の 3 つの要素です。そんな誰もが自然と健康になるような浦安のまちづくりをしたいと考えますが、市の考えは？

A 市では、楽しみながら街なかを散歩できるよう安全で快適な歩道や緑道の整備を進めてきました。近年では、千葉県との協議等を重ねながら水辺空間と公園や緑道などを有機的に繋ぐネットワークづくりに取り組んでおります。様々な主体により、まち歩きイベントなどが実施もされています。こうした環境や取り組みで、市民の歩く機会が増え、健康維持や増進、新たなまちの魅力発見や人々の触れ合いによるコミュニティ醸成など、街全体の活力向上につながるものと期待しています。